

**未来くん杯第20回全国中学生空手道選抜大会山形県予選会
審判・監督会議資料**

1. 遵守事項

(1) 共通事項

- ①競技規定については実施要項のとおりとする。
- ②審判・監督会議は事前に本書面の配布のみにより実施する。当日は審判においては出欠確認のみ、監督は代表監督説明会時に棄権する選手を報告すること。
- ③ゴミは各自お持ち帰りください。

(2) 審判員

- ①通常通り笛を使用する。
- ②競技中指定された席を必要以上に離れないこと。
- ③審判シューズは土足厳禁とする。

(3) 選手

- ①隣の選手及び前の選手と間隔を空けて整列すること。
- ②形名の呼称や気合い等を発声する際は大声での過度な発声を禁止する。
- ③組手競技におけるマウスシールドの装着は任意とする。
- ④組手競技においてマウスシールドが外れた場合は、直ちに主審が「止め」をかけるので付け直すこと。
- ⑤試合前後はきちんと礼をし、ハグ、グータッチ、握手、出迎え、送り出しはしないこと。また、おたけびや派手なりアクションは禁止とする。
- ⑥トーナメント方式では負けた選手から随時退場する。

(4) 監督

- ①監督はあらかじめ届出があった者とし、役員及び審判と兼ねることはできない。
- ②異議申し立てについては実施要項に記載のとおりとする。
- ③監督席では大きな声での過度な発声を禁止する。
- ④選手が不適切な服装、防具で入場した場合（審判員による服装、防具確認後）、2分（形は1分）ルールは適用しないが、監督は当該競技者の監督に就くことができない。
※その選手の試合のみ
- ⑤監督は必要以上の指示をしない。2回主審に注意された場合は、その試合のみ退場となる。
- ⑥監督は空手着を着用しなくてもよいが、監督としてふさわしい服装とすること。また、県連指定の腕章を装着すること。
- ⑦監督は予選会が円滑に進行するよう、当該所属団体の一般入場者に取決め事項やマナー等を遵守するよう呼び掛け、協力いただくよう要請をすること。

2. 競技について（実施要項記載以外）

(1) 形競技

- ①時間短縮のためコートコーナー部分からの斜め入りとする。
- ②礼について（監督が選手に促すことを可とする）
※コートの出入りは礼をしないこと（減点ではないが遅延につながるため、監督は礼をしないように促す）。

- ③競技者数が4名以下の場合は決勝ラウンド及び競技者数が5名以上12名以下の場合、選手はいずれのラウンドも赤帯を着用すること。
- ④競技者数が13名以上の場合は確定次第通達する。

(2) 組手競技

- ①10カウントルールは採用しない。
- ②【競技終了時に同点で先取のない場合】
1本での得点の多い方が勝ち → 技ありでの得点が多い方が勝ち
【さらに同点の場合】
副審4名の判定 → 2対2の同数時は主審が決する。

(3) 審判員実施事項

- ①組手競技において、マウスシールドが外れた場合は直ちに主審が「止め」をかけ、付け直させてから再開すること。
- ②審判員は同じ団体に所属する選手の審判はできない。但し、審判員に不足が生じた場合は、審判長又はコート主任の判断により審判団に編成することがある。

3. 質疑について

- (1) 予選会当日は従来の審判会議、監督会議は実施しないため、上記の内容について質疑が生じた場合は、別紙「質疑申込書」に質疑内容を記載し、担当者へ期日までメールで送付すること。後日、質疑内容とその回答を通達する（ホームページ掲載）。
- (2) 質疑申込書の提出について
 - 【提出期限】 令和7年11月7日（金）
 - 【提出先】 強化委員会 梁瀬伸祐 宛 メールアドレス s.yanack@poppy.ocn.ne.jp